

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月02日

計画の名称	陸沢町地域 地域住宅計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	陸沢町												
計画の目標	地方創生の拠点として「道の駅」と「定住促進住宅」を官民連携手法（PFI事業）により一体的に整備し、小さな拠点（むつざわスマートウェルネスタウン）による健康づくりと地域活性化を図るため、『良質な住宅ストックの形成』、『良好な居住環境の形成』を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	966	A	888	B	0	C	78	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	8.07	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	町内への転入者数を1,093人（H27）とほぼ同数の1,100人（H31）に現状維持を保つ 町内へ移り住んで来る人数（転入者数の5年間の合計）	H27 1093人	人	H31 1100人
2	誘導居住面積水準達成率の改善（11%（H27）から53%（H31）に増加） 町営住宅（公営住宅及び公的賃貸住宅）における誘導居住面積水準達成率	11%	%	53%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H28	H29	H30	H31	R02						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	睦沢町	直接	睦沢町	-	-	睦沢町地域住宅計画に基づく事業	地域優良賃貸住宅整備事業	睦沢町						888		-			
												小計						888				
												合計						888				

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	睦沢町	直接	睦沢町	-	-	地域優良賃貸住宅用地買収事業	用地買収	睦沢町						43	-	-	
		早期実現と施策の推進が図られる。																		
	C15-002	住宅	一般	睦沢町	直接	睦沢町	-	-	地域優良賃貸住宅土地造成事業	土地造成工事	睦沢町						20	-	-	
		早期実現と施策の推進が図られる。																		
	C15-003	住宅	一般	睦沢町	直接	睦沢町	-	-	地域優良賃貸住宅駐車場整備事業	駐車場整備	睦沢町						15	-	-	
		早期実現と施策の推進が図られる。																		
											小計						78			
											合計						78			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
庁内会議において、事業効果の検証及び数値目標の達成状況を検証し、定量的指標を達成するため今後の方針等を検討した。	令和5年度
	公表の方法 町のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的に整備が進められ、良質な住宅ストックの形成や地域の活性化にある程度寄与することができたが、目標値を達成することができていない。 今後も定期的に達成状況を確認し、事業の効果を図ることとしたい。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	町内への転入者数	
	最終目標値	1100人
	最終実績値	914人
2	誘導居住面積水準達成率	
	最終目標値	53%
	最終実績値	27%

本計画により地域優良賃貸住宅を整備し、町内への転入促進を図った。しかしながら、本住宅以外での転入希望者の受け皿が少なく、需要に対して供給が不足していたことが要因と考えられる。

当初想定した入居者1世帯あたりの人数より、実際の1世帯あたりの人数が多かったことが要因となっている。